

## あ と が き

全国一斉臨時休業という、誰もが経験したことのない困難な状況で始まった令和2年度。新型コロナウイルスの感染拡大は私たちの生活に深刻な影響、大きな変化をもたらしました。子供たちが学校に来て学ぶこと、多くの仲間と関わり合い成長すること、様々な学校行事をとおして社会性を育てること、また、私たち教職員が授業改善を目指して学校や教協で研究と修養に努めること。これまでごく当たり前だと思っていたことの重要性や尊さについて、改めて実感する一年になったのでは、と思います。

新しい生活様式を踏まえ、感染拡大防止に努めながら、各校では少しずつ学校生活を取り戻してきました。同様に教協研究についても、年度の前半は中止を余儀なくされた時もありましたが、知恵を出し合い、制約のある中でも研究並びに日々の授業実践を直向きに行い、小学校では今年度から、中学校では令和3年4月からとなる新学習指導要領の全面实施に向け、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の工夫・改善に取り組んできました。変化が激しく、将来の予測が困難な社会において必要な教育とは、それを実現するための手立てとは・・・その答えが本誌の中にある、と言えるのではないのでしょうか。

「東山梨教育研究」も昭和38年の初刊以来、59号を数えました。これまでも、各学校、研究部会では、多くの諸先輩方が築き上げてこられた実践とその成果の上に立ち、社会背景や地域の現状を踏まえ、目の前の子供たちに必要な力を見据えた教育研究を進めてきました。今後、更なる教育活動の充実を図っていくためにも、この「東山梨教育研究」の果たす役割はますます重要なものとなることでしょう。

末筆ながら、本誌の発刊にあたり、お忙しい折に玉稿を賜りました山梨市教育委員会教育長様、並びに東山梨教育協議会会長様をはじめ、貴重な原稿を寄せられた皆様、発行にご協力いただきました皆様に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。また、山梨、甲州両市教育委員会には財政の面でご支援をいただきました。深く感謝申し上げます。なお、本冊子の表紙は、塩山中学校 古屋葵衣さんの作品「I' ll be happy」です。ご協力ありがとうございました。

### 【編集実行委員会】

山梨市教育委員会教育長	澤田 隆雄
東山梨教育協議会会長	小川 正仁
甲州市教育委員会教育長	保坂 一仁
峡東教育事務所所長	久保田英樹
峡東教育事務所指導主事	中村 弘和
山梨市教育委員会指導主事	岩下 秀人
甲州市教育委員会指導主事	小椋 規雄
東山梨教育協議会事務局次長	平山 直樹
東山梨教育協議会研究推進委員長	日野原和貴
山梨支会研究推進委員長	雨宮 正倫
甲州支会研究推進委員長	中根 淳

発行日	令和3年4月1日
発行責任者	東山梨教育研究 編集実行委員会
編集責任者	東山梨教育研究 編集実行委員会事務局
印刷所	昭和堂印刷